



※本ビジュアルはIndustry Alpha株が
開発したAMR「kaghelo」の利用イメージです。

倉庫DX実現に向けた スタートアップの革新サービス 紹介セミナー

搬送の自動化・ロボット化が拓く物流変革

物流2024年問題を契機に、物流システム全体の省力化・省人化・生産性向上が事業活動上必須とされ、業界全体でDXに取り組む必要性が高まっています。そこで、(株)キャンパスクリエイトとIndustry Alpha(株)が中心となって「倉庫DXオープンイノベーション推進プロジェクト」を発足し、倉庫DXを目指す倉庫保有者・荷主に対して推進方法を紹介していくとともに、倉庫DXに貢献可能なサービスベンダーとのビジネスマッチング、および、サービスベンダー間の連携促進を進めています。倉庫DXは簡単なことではなく、適切な指針策定と様々な技術やサービスの合理的活用で成り立つため、様々な事業者のオープンイノベーションの活性化が必要と考えています。

本セミナーでは、倉庫DXの要である「搬送の自動化・ロボット化」に着目し、スタートアップの革新的なサービスや取組に必要な要素について事例を交えながら紹介しつつ、交流会にてコミュニティづくりを図ります。

2024
12/16 月
14:00~17:00
交流会:17:00~18:00

会場 artience株式会社
京橋エドグラン29階
〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2-1
東京メトロ銀座線「京橋」駅直結
主催:株式会社キャンパスクリエイト
共催:Industry Alpha株式会社
後援:日鉄興和不動産株式会社

参加費
無料

申込は
こちら

<https://warehouse-dx20241216.peatix.com>
申込締切:2024年12月12日

タイムスケジュール

1	14:00~14:05	開催挨拶・趣旨説明	株式会社キャンパスクリエイト 専務取締役 須藤 慎
2	14:05~14:35	基調講演1	国土交通省 物流・自動車局 貨物流通事業課 貨物流通経営戦略室長 塩野 進 氏
物流業界の持続的成長と物流DXの推進に向けた国土交通省の政策			
3	14:35~15:00	基調講演2	日鉄興和不動産株式会社 企業不動産開発本部 加藤 由純 氏
物流倉庫のロボティクス導入・オペレーション自動化の必要性和トレンド			
4	15:00~15:20	基調講演3	株式会社ゼネテック デジタルエンジニアリングソリューション本部 DX事業部長 有馬 淳哉 氏
物流倉庫のデジタルツインによる課題の可視化と対策、運用効率化			
5	15:20~15:40	基調講演4	ソフトバンク株式会社 法人統括 IoT&プラットフォーム本部 プラットフォームサービス統括部 プラットフォームビジネス企画部 2課 畑山 景介 氏
屋外測位+屋内測位による 物流現場の「最適化」と将来的な「自動化」への取り組み			
6	15:40~15:55	途中休憩	
7	15:55~16:15	スタートアップの取り組み1	Industry Alpha株式会社 事業開発部 マネージャー 杉浦 聡一郎 氏
AMRを用いた、現場に適した自動搬送オペレーションの構築方法			
8	16:15~16:35	スタートアップの取り組み2	株式会社ハクオウロボティクス COO 塩原 努 氏
物流2024年問題が起こる本質的な原因と、パレット一括自動認識機能付 自動フォークリフト「AutoFork」の開発による課題解決			
9	16:35~16:55	スタートアップの取り組み3	株式会社eve autonomy 事業開発部 マーケティングG マネージャー 龍 健太郎 氏
物流施設内の建屋間搬送など 屋外対応の無人搬送サービス「eve auto」			
10	16:55~17:00	閉会挨拶	Industry Alpha株式会社 事業開発部 マネージャー 杉浦 聡一郎 氏
11	17:00~18:00	交流会	※参加者の皆様および講師を交えて交流の機会を設けます。

Tokyo NEXT 5G
Tokyo NEXT 5G Boosters Project
本イベントは、東京都「次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業 (Tokyo NEXT 5GBoosters Project)」の支援を受けて実施します。

倉庫DXオープンイノベーション 推進プロジェクト

株式会社キャンパスクリエイトは本プロジェクトを通じて物流業界の産業振興に貢献するため、倉庫DXを実現する基幹サービスを提供するIndustry Alpha株式会社と連携し、倉庫DXの機運醸成や効果的な取組手法の調査・業界内周知、物流業界内で先端的な取組を行うステークホルダーのコミュニティづくり、ひいては倉庫保有者、荷主や様々な倉庫関連事業者とのオープンイノベーションによる倉庫DXを推進します。

物流2024年問題を契機に加速する倉庫DXの必要性

物流2024年問題により、物流業界の人手不足やコスト増大が懸念され、倉庫DXの必要性が高まっています。



プロジェクトの取組

倉庫の特徴に沿った先端的なデジタル技術・自動化機器を導入。

1 倉庫DXの普及に繋がるノウハウや事例を業界内に浸透

倉庫DXの実現に役立つ業界トレンドや取組事例、最新情報、サービスの導入効果等を広くご紹介。業界全体のDX機運を醸成します。



2 コミュニティ形成・ビジネスマッチング

倉庫DXを実現したいユーザーと、実現に貢献できるサプライヤーとの交流、更にはサプライヤー間の連携づくりも促進。



目指す未来

倉庫において、様々なロボット・搬送機器や先端サービスの普及による省人化・省力化の達成を目指します。複数の移動体の安定制御やAIの活用等高度情報処理を行うにあたり無線通信が重要となるため、ローカル5G等の次世代通信技術の普及も進めていきます。



プロジェクト
運営者

株式会社キャンパスクリエイト



CAMPUS CREATE Co.,Ltd.
株式会社キャンパスクリエイト

国立大学法人電気通信大学TLOかつ広域TLOとして、全国規模の産学官連携や産業振興に取り組んでいます。本プロジェクトは、物流業界の産業振興に向けて倉庫DXを推進します。

共同推進
パートナー

Industry Alpha株式会社



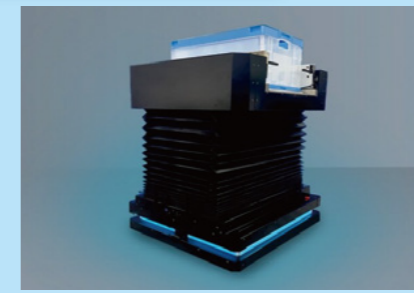
スマート工場・スマート倉庫の実現を目指すディープテック・スタートアップです。独自開発のAMR等のロボットと、WMS等のシステムや様々な機器と連携可能なシステム技術(FMS)が特徴です。

東洋経済特集
「すごいベンチャー100 2024年最新版」
物流・貿易カテゴリにおいて選定
URL: <https://www.industryalpha.net>

特徴1: 独自のAMR・ロボット・ソフトウェア群



185mmと薄型であり、可搬重量が大きい自立走行AMR



荷物の出し入れも可能なAMR

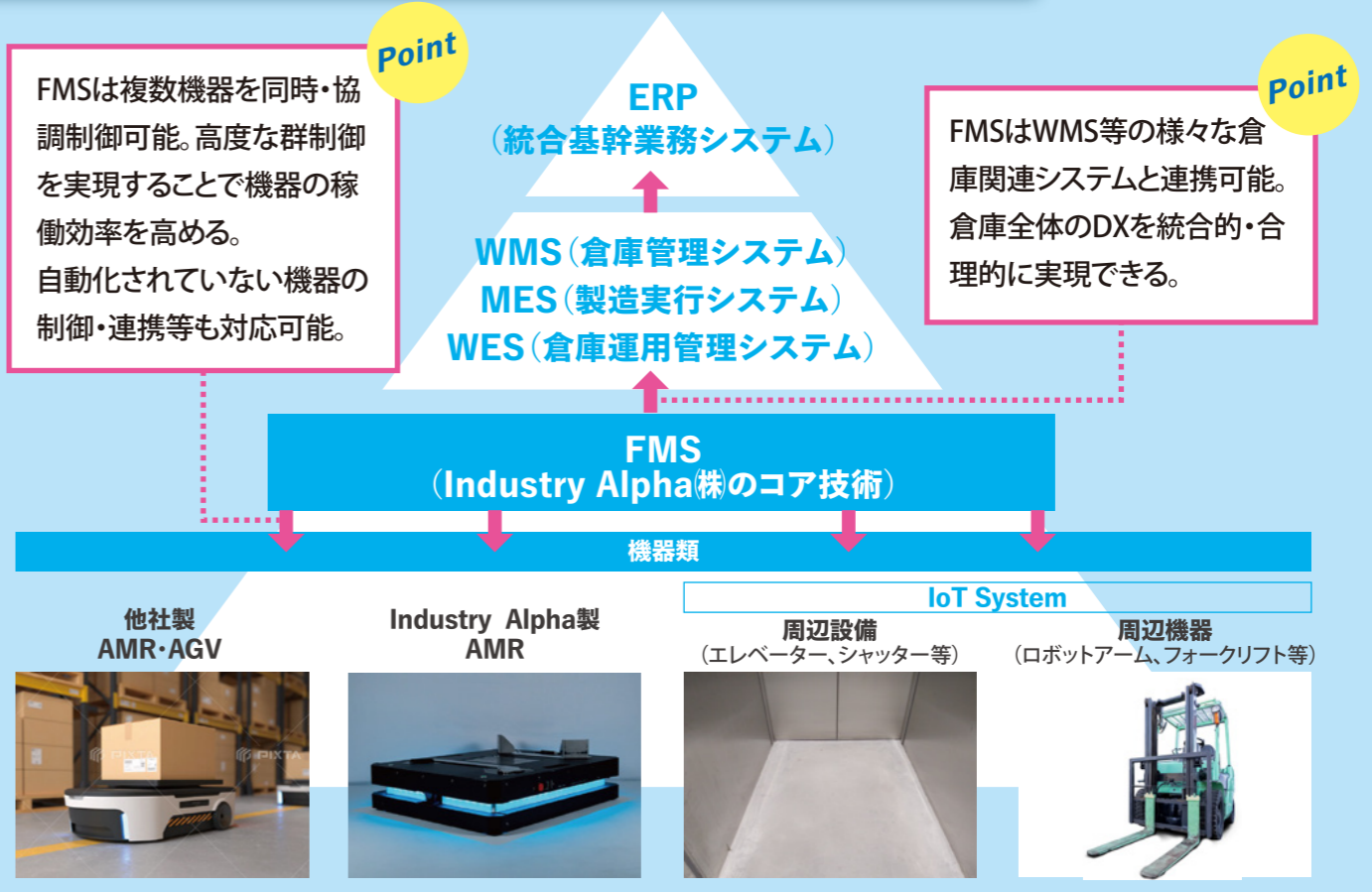


スピードと正確さを兼ね備えたピッキングアシストAMR

ローカル5G対応可能

現場に併せた柔軟な対応が可能

特徴2: FMS AMRを群制御すると同時に周辺機器を連携する自動化プラットフォーム



point

Industry Alpha株式会社ではスマート倉庫実現に向けたロードマップの作成、機器選定を含むシステム導入コンサルティングサービスも提供しています。